

農福連携の効果実証調査を踏まえた 農福連携の効果と展望



開催日時

令和7年11月28日(金)
13:30~15:30〔オンライン開催〕

第一部「農業が障害者の健康に及ぼす効果」

発表者：神藤 恵史 氏（オランダ・ワーゲニンゲン大学研究員）

田邊 望 氏（金沢医科大学リハビリテーション医学科講師/医師）

笠間 令子 氏（株式会社笠間農園取締役）

国際的なジャーナル「Social Sciences & Humanities Open」に掲載された、農福連携に関する論文の著者3名の方に農業が障害者の健康に及ぼす効果についてご講演いただきます。

第二部「農福連携の展望について」

ゲスト：家老 洋 氏（特定非営利活動法人UNE代表理事）

新潟県長岡市栃尾の中山間地域でユニバーサル農業に取組み、障害者、ひきこもり経験者、生きづらさを感じている人たちと地域の高齢者が互いに支えあう地域コミュニティづくりに取組まれています。

新藤 悠子 氏（医療法人社団紫蘭会 光ヶ丘病院 理事長補佐/医師）
（一般社団法人 ヒカリプロジェクト 代表理事）

“リハビリテーション”と“農”を組み合わせた“リハビリファーム”を開園。
「みんながつながる場所」、「みんなが元気になれる場所」、「地域で取り組む農と食のモデルづくり」をめざして取組まれています。

趙 晤衍 氏（学校法人敬和学園 敬和学園大学教授）

令和4年度より遊休農地を活用して、まぼろし大豆“一人娘”の栽培を通じて、地域住民の皆さん、福祉関係団体、地元企業、大学、高校、行政と協力して、農福連携プロジェクトに取組まれ、農福連携による地域の活性化に向けて活動をされています。

ふるって
ご参加
ください!!

参加申込
について

参加を希望される方は、以下の参加申込フォーム（URL）から必要事項をご記入の上、お申し込みください。なお、お申し込みによって得られた個人情報は、厳重に管理し、本発表会の運営に限り利用させていただきます。

【参加申込フォーム】

https://www.contactus.maff.go.jp/j/hokuriku/form/040715_noufuku.html



申込締切11月21日(金)

問合せ先 北陸農政局農村振興部都市農村交流課
電話：076（232）4890